

NEXCO西日本 新名神大津だより

◆高速道路建設の状況



**事業概要**

新名神高速道路は名神高速道路と適切な交通機能を分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。新名神大津事務所では、滋賀領域の12.2kmを担当しています。

◆各地区の進捗状況(平成27年12月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

区間	大津JCT～滋賀領域(12.2km)											
	大津大石工事区(6.4km)				大津田上工事区(3.3km)				大津上田上工事区(2.5km)			
学区名	大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)			
自治会名(km)	小田原町 2.1km	龍門町 2.4km	中町 0.4km	東町 1.5km	関津 1.0km	里 0.3km	枝町 0.7km	森町 0.5km	羽栗 0.8km	新免 0.4km	中野町 0.9km	牧町 1.2km
事業説明会	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
設計協議	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◆	◆
幅杭設置	◇	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◆
地図訂正	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◇	◆
用地取得											◇	◆
埋蔵文化財調査	◇	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◇	◇	◆	◇	◆

◆地域の皆さまへ



西日本高速道路(株)関西支社 新名神大津事務所 副所長の松村 巖でございます。平素は、新名神高速道路事業にご理解及びご支援を頂きありがとうございます。事務所では、平成35年度の供用に向けて、地図訂正、埋蔵文化財調査、設計協議、用地測量及び用地取得を行っている状況です。滋賀県、大津市、南部3学区連合会及び各自治会の皆様にご協力を頂いて、1日でも早く開通を目指してまいります。今後より一層のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

◆路線特性

当該区間のサービスエリアには、スマートインターチェンジも併設して計画(平成26年8月連結許可)、構造物(橋梁、トンネル)比率は、約4割で山間部を通過する計画です。延長の約5割にわたり自然公園特別地域、砂防指定地及び保安林が指定されており、埋蔵文化財も点在しています。

◇「荒戸橋」架替工事状況について

架替工事に際し、「安全祈願」"灯籠お祓い"を滞りなく終え、現在は河川内の施工ヤード整備 及び荒戸橋の撤去作業を行っております。



◆進捗状況

平成24年4月の事業許可を受けて、事業再開の地元説明会を平成24年12月迄に実施、平成25年2月から地図訂正のための現地境界確認、平成25年10月から地元設計協議を実施中です。設計協議が完了した地区から幅杭を打設し、用地取得に着手しております。

新名神(滋賀領域)では、本線工事のための準備工事として、7年ぶりに工事用道路工事の現場に着手しました。大津市南部の自治会で形成される大津市南部3学区新名神対策協議会においても、早期着手の気運醸成があり、一日でも早い開通を目指して、行政・地域と一体となって事業を進めています。

また、地域の皆様との交流を図るために地域イベントに積極的に参加し、高速道路事業のPR活動を行っております。

上田上学区・田上学区・大石学区の文化祭に参加しました。



11月1日に大津市上田上学区と田上学区の市民センターにて、11月3日に大石学区の市民センターと幼稚園にて行われた文化祭に参加しました。各学区でのNEXCO西日本ブースでは、新名神高速道路の事業PRをはじめ、まだ完成していない新名神高速道路での走行を体験できる人気のドライビングシミュレーターや、アーチの仕組み等について学ぶ土木体験学習コーナー、お花のプレゼントなどを行いました。大石学区では、越 直美 大津市長も来場し、ドライビングシミュレーターの体験や、新名神高速道路事業の状況の説明などをさせていただきました。この文化祭には、3学区を合わせて400人以上の来場者にお越しいただき、大盛況で幕を閉じました。



第41回 田上山小学校卒業記念植樹に参加しました。



11月25日、大津市田上関津笹ヶ岳地先において、田上山砂防協会主催の田上山小学校卒業記念植樹に参加しました。田上山の砂防事業100周年を記念して始まった植樹は、今回で41回目。当日は、卒業を控えた大石小学校、田上小学校、上田上小学校の6年生186名が集まり、滋賀県と大津市の職員の方々と一緒に、ヤマモモの苗木47本を植樹しました。新名神大津事務所からはムラサキシキブの苗木10本を寄贈し、植樹を行いました。



そうだったのか! 高速道路

Q 高速道路にある「吹き流し」は何のためにあるの?



A 風の「強さ」と「方向」をドライバーにお知らせして、注意して運転してもらうためなんだ。

高速道路では、時速80キロくらいのスピードで走っていても、ちょっと風の強い日には、突風などで、車が突然2〜3メートルも横に流されることは珍しくありません。

そこで高速道路では、風の強さと方向をドライバーに知らせるために、横風が予測される河川付近や谷間を横断する箇所、トンネル出口付近に「吹き流し」を設置している場合があります。吹き流しの角度から風の強さを知るには、「吹き流しの角度÷8」でおおよその風速が分かります。

これで計算すると、図の通り、吹き流しが水平の時は風速11メートルくらい、45度の時は風速5メートルくらい、30度の時は風速3メートルくらいとなります。(いずれも毎秒あたりの風速)横風が最も多いのは、トンネルの出口から出た瞬間などです。急に車が横に流された場合は、あわてずにアクセルを離して減速し急なハンドル操作をしないで車を立直すようにしましょう。

風の強い時には、あまり速度を出さないように注意して走行してください。

